

現認 証明書

本籍地
電部隊

官氏名 陸軍

死亡前 死亡後

年 月 日生

金

役種 兵種 年次
死亡年月日時

月 日

死亡者 役種 年次 死亡年月日時

一 死亡者 役種 年次 死亡年月日時
二 死亡者 役種 年次 死亡年月日時

一 遺族の現住所
二 遺族の骨の有無
三 遺族の氏名

石 相違無キコトヲ証明ス

現認者

本籍地
所屬部隊
階級氏名

石 相違無キコトヲ証明ス

現認者

86-10

268

明治二十九年八月

現認證明書

一 本籍地

成田ノ九四部隊

軍曹

官氏名 陸軍

死亡前
死亡後

一 役種 兵種 徵集年 現役 主計兵 昭和十年

一 死亡年月日 昭和十年二月一日

一 同 場所 リンノ島 バタンガス洲

一 同 區分 戦死

一 死因 砲撃 砲弾破片 創

一 遺骨 有 無

一 遺族 現住所

右相違無キコトヲ證明ス

昭和十年八月

日

本籍地

成田ノ九四部隊

衛生上等兵

死亡者	姓名	年	月	日	死	因	場所	役種	兵種	徵集年	現役	主計兵	昭和十年

157-10

階級
15.12.1
16.12.1
17.2.22

15.12.1
17.2.22
17.2.22

一、本籍地 現 認申述書 (高)
二、氏名 軍曹 (伊原)
三、所属部隊 独立混成二旅隊 威三九三之部隊 大隊 橋本銃中隊 令隊
四、戦死の経緯 戦死
五、戦死の場所 比島 ウニニガン
六、戦死年月日 昭和二十年二月一日午前十時頃
七、遺留品有無 なし
八、戦死に至る経緯 昭和十九年七月満洲々、ハルビン混成二旅隊 威三九三之部隊編成

今年七月下旬満洲々を出発して九月十日比島の北オサン
ランドに上陸 軍曹 (伊原) 戦死の経緯 (伊原)

左年十二月下旬マニラ經由昭和二十年一月二十七日ウニニガン
市に到着大隊長 大尉 (高部) 以下撃兵
団に配られ夜九時三十分頃陣地を築城明け二十八日戦斗開始
三百米の短巨砲にて斬込み、連日緩行し犠牲者は毎日倍加し昭和二十年二月一日午前十時頃令隊長 伊原は
小生と巨砲三十米の地点に於て名義の戦死を遂げらる
右の通り相違なき事を現認申述する
昭和二十二年二月 日

[Redacted Signature]

[illegible]

我國吳文三部隊

(詳別)

主任

義江

1. 隊長

國有部隊名	死亡前階級	死亡後階級	通稱號	昭和 年 月 日
佐野三五九大隊	上等兵		勤一〇六七二	
徴集年	役種	兵種	氏名	年 月 日生
本・所・地	留・所・常・所	出・所・氏・名	死亡月日	死亡場所
	大月	妻	右の者昭和 年 月 日 時 分に於て	死に依り死せしことを確認す
1. 遺骨	2. 遺留品	3. 遺囑書類	4. 其の他	現認 成認
現住所	所屬部隊	軍隊に於ける位置	署名	印
	独歩三五九大隊	曹長		

26-10

106

(課別)

課長	系長	主任	留守	本	徴集	死亡	固有	戦歿者	戦歿者
固有部受名	死亡前情	留守部受名	本籍地	徴集年	死亡後情	独立歩兵四五九大隊	兵長	昭一四	役係
独立歩兵四五九大隊	死亡後情	本籍に同じ	昭一四	役係	兵長	勤一〇、六七二部隊	昭一四	役係	兵長
戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者
戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者
戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者
戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者	戦歿者

12-10

現認證明書

本籍地	[Redacted]	
所屬部隊	獨歩三五九大隊(威一〇六七二部隊)第一中隊	
官等級氏名	陸軍衛生兵長 [Redacted]	
發病	場所	ルソン島 カバナツアン
受傷	年月日	昭和二十年二月一日
病傷名		
死亡場所	ルソン島 カバナツアン	
死亡區分	戦死(頸部貫通銃創)	
死亡年月日	昭和二十年二月一日午後三時	
摘要		

右現認シタルコトヲ証明ス
昭和二十年十一月十二日 現認者

現住所 [Redacted]
所屬部隊北島旅團威一〇六七二部隊
階級氏名陸軍衛生兵長 [Redacted]

昭和廿二年 六月廿七日

昭和廿二年 六月廿七日

係長		主任	（課別）	
固有部隊名	独立歩兵三五九大隊	留守所	製造所	製造所
死亡時階級	伍長	姓名	死に月日	死に場所
役職	昭一	昭一	昭一	昭一
本籍地	昭一	昭一	昭一	昭一
勤務年	昭一	昭一	昭一	昭一
勤務所	昭一	昭一	昭一	昭一
勤務事由	昭一	昭一	昭一	昭一
遺骨ナシ	昭一	昭一	昭一	昭一
遺留品ナシ	昭一	昭一	昭一	昭一
その他	昭一	昭一	昭一	昭一
備考	昭一	昭一	昭一	昭一

現
二
靜
明
書

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 威四七三部隊

徵集年形 七

氏名 官等級 陸軍伍長

右ノ者昭和三十年二月二日四時

分島ニ於テ

ニ依リ戰傷

瘡死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年十二月二十日

所屬部隊

職名 行本

官等級 陸軍上等兵

氏名

- 注意
- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
 - 一、職名ハ中、小隊長、砲手、機銃手等ト詳記ス

64-11

状況不明者の資料届

本籍地

大尉

所属部隊 固有名 戦車第三師團整備第三中隊

通称名 威一三〇六部隊

「サホセ」周邊の戦闘に於て「サホセ」西方約三〇杆の地裏にて
迫撃砲弾の着左胸部を貫通銃創により戦死（廿四日）

威一三〇六

陸軍少尉



戦死確認証明書

一官氏名

陸軍准尉

二年月日

昭和二十年二月三日 早朝

三場所

比島ルン島ルバチ街

四状況

將校下候長トシテ偵察中 敵自初め銃彈
數発ヲ受テ即死ス

五留身担当者

妻

右之通り確認スルニ付 届出ス

昭和三十二年九月二十日

先戦車第二師団整備隊附

大陸軍技術少佐



81-12

民生部第一世國庫

民生部第一世國庫

者提研

Fig-10

28/

死亡證明書

所屬部隊マニラ陸軍航空隊才大独立整備隊

官 等陸軍曹長

氏 名

本籍地

留學地

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡事由

(其詳細は)

昭和二十年二月四日

マニラ東方約二十五キロ

戦死

自働車行軍中マニラ東方約二十五キロ、
其美、於敵機甲部隊と遭遇、敵機に戦ひ、
折柄、敵機甲車一部下り、其に突入、敵車上、
壯烈に戦死す。

8-11

右證明致し文す

昭和十一年三月二十日

證明者

本二聯地

所有軍隊より陸軍航空隊才大独立整備隊

信子陸軍之勤

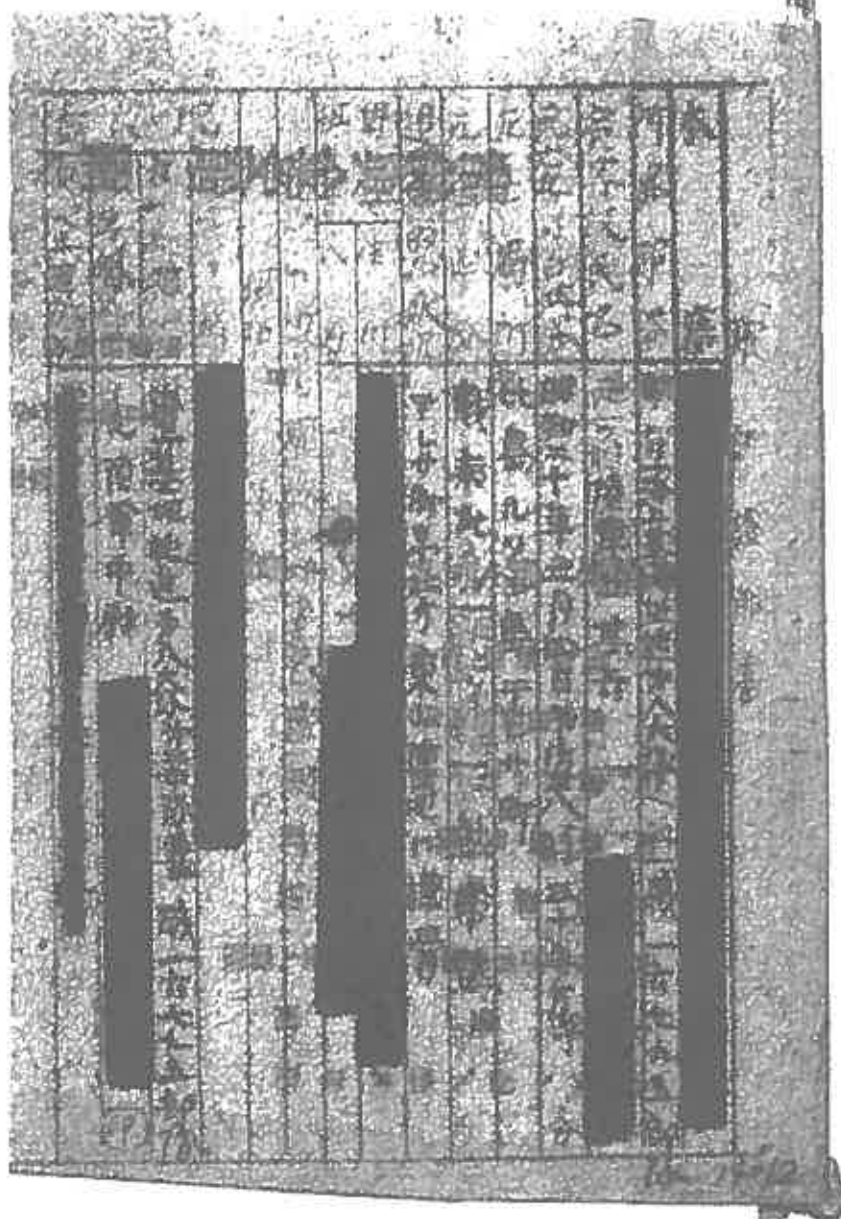
氏名

[Redacted]

印

[Redacted]

8-12



昭和二年

4

仙遊

有無

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

遺賢

三月一日午前十一時 戦死 石名宗満 戦中 戦死 石名
宗満 野戦病院 収容 石名 昭和二十年五月一日 午前
五時 十分 戦死 石名

昭和十九年九月七日大坂より比島へ戦道ハコノハコノ附近一戦斗中
昭和二十年二月四日午後一時戦死ス（比島沖）

敬啟者 上平身 敬啟者 敬啟者

1

[illegible]

步兵

五月廿五日

1875

カシ 礪度 甲

1

10

194

Sept 21/92



1997

10

100

昭和二十一年 月 日

第 號

地方世話部 死亡者 認定票

昭和二十一年 月 日 調製
留守 業務 課

所屬部隊名 固有 獨歩十一隊 通稱名 衆第伍三二四部隊

本籍地 昭一六 種役 現 種兵 歩 級等官 前亡死 上等兵 後亡死 伍長 名氏 年 月 日生

死亡年月日時 昭和二十一年二月四日 死亡場所 比島ルン島 死亡原因 傷病名

現住所 氏名 氏名

親 父 氏名

衆五三四部隊に於て同部隊より復員せしる 居生 存中 には 消息 あり 衆五三四部隊の 消息 あり 衆五三四部隊の 消息 あり 衆五三四部隊の 消息 あり

は、ケリより行動活潑にあり山中の自初車乗降は次第に危険となりしに、重要なる兵を運送する為、アカシを出發し、赤い木に

向ふ途中、現地よりケリよりこの部隊を告げ、車中より戦死せり 上等兵

官給 等 級 位 長 進 級

印 檢 点 認定 進 級 告知 記録

決

判

路 部

手 入

ノ

料 資 及 料 資

定 額

者 當 撥

人

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

官所 城見本
源部 庄籍現
隊 名所地設

證明書

[Redacted]

[Redacted]

五三一部隊 日主

徵集後種多籍

死亡年月日 昭和二十二年二月四日午後

死亡場所 比島文二市トード区

死亡区分 戦死

死因 空襲被害

現認 事左

昭和二十二年二月四日午後、新開三ノ米軍及七ノリ部隊
より、戦死後、既に戦死を認め

道骨。未無

道繼任、遺骸長

[Redacted]

不明遺無、事主證明する

現認、官可殺、氏名、陸軍一、

死所、部隊、城五三一

昭和二十二年三月七日

[Redacted]

[Redacted]

46-11

光緒

[illegible]

○正教上の注意非に誤謬をば救ふべしとあり。正教上の注意をよく聞かざるが故にの事と
○不潔な平牛割明しあるものは、殺して食料することと

寫

戦死の証明及び戦友の言葉 寫

威一七六五七部隊 隊 隊

陸軍部長 [redacted] 比島マニラ武勲山の戦斗ニ

昭和二年二月九日名譽賞の戦死す

威一七六五七部隊

部隊本部

印

死亡現認證明書

第十四軍野戰兵營

陸軍衛生上專員

100

昭和二十一年五月九日午前十一時

戮
北

比島リール
州
七ニテハニ
チム事
例

空爆
にふふ

明

空爆の多しあり
戦況を現況に
一五

仁通證明書

其十由左而右野戰兵卷一

陸軍部長

1

本諸明書に三節作製する。死と奇官を二海は死亡當時の階級を記載し、元は終田、源氏州より病けり、階級とも記載する。現認事由は陸軍と詳細に記載する。正に二分は戦い、戦傷記、戦初、予患所、六歳、子役、戦死、成明、等がみえ。

証明書

部隊番号

撃二二六部隊

隊

隊

氏名

陸軍技術軍曹

目録

昭和二十年二月五日

場所

比島スエーデンバ州ルバオ

戦死当時状況

昭和十九年一月十五日ルバオ着同日ヨリサシホセ園辺ノ作戦ニ参加二月五日重機回銃トミミ米軍ニ交戦中自撃砲弾ニテ胸腹貫通即死ス

右之者比島オバオニ戦死セシ事ヲ証明ス

昭和二十年四月七日

地方世話部調査科殿

現認證明書

比島海邊

戰死之大大三郎

陸軍上草其後

右者昭和二十年二月六日

比島海邊戰死之大大三郎

其子大大三郎現年二十一歲

全身砲彈破片創

二氣死(戰死)之大大三郎現年二十一歲

昭和二十年二月十六日

現認者元

比島海邊戰死之大大三郎現年二十一歲

現任所

氏名

現認證明書

民生部世話課

右現認證明致します 昭和 25 年 12 月 16 日		死者の氏名 新田 隆太郎	死者の生年 昭和 10 年 1 月 1 日	死者の生月 1 月	死者の生日 1 日	死者の生時 1 時	死者の生分 1 分	死者の生秒 1 秒	死者の生刻 1 刻	死者の生辰 1 辰	死者の生時 1 時	死者の生分 1 分	死者の生秒 1 秒	死者の生刻 1 刻	死者の生辰 1 辰	死者の生時 1 時	死者の生分 1 分	死者の生秒 1 秒	死者の生刻 1 刻	死者の生辰 1 辰	
死者の住所 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎	
死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎	
死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎		死者の職業 新田 隆太郎	

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名姓 五歩兵一六六大隊 通稱名 威一〇大七〇部隊

徵集年

各種國民兵 兵種 歩兵

官等級(昭和十九年九月十九日發令)兵名

陸軍一等兵

年 月 日生

一、死亡年月日時分 昭和二十二年 二月 七日 七時三〇分

二、死亡區分及傷病名 戦死 (大腿部貫通)

三、死亡場所 比島ルン中部ニテテラサ町

四、死時状況 死を現認する者係 本合昭和二十二年三月十八日
に於て、南後中隊の一員として死す時は、隊員として
死す前後、秋、一月の二、三日に匪賊討伐に参加し、
部に貫通銃創により二月に死す。死す時、地埋葬

五、通骨及遺留品の有無

並に遺品(状況)

無し

六、死亡に関する書類の有無

死亡に関する書類は、戦時中に焼却

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十二年 二月二二日 元所屬部隊(固有名) 五歩兵一六六大隊

(通稱名) 威一〇大七〇部隊

現住所

舊職官等氏名 陸軍上等兵

一、死亡者本籍地

二、留守擔當者の住所親類氏名

右の通り相違ないことを証明する

昭和二十二年 五月 七日

縣 郡

村町市

死亡現認證明書

死 所屬部隊名 撃一二一〇六部隊
官号 級氏名 陸軍衛生兵二等兵

本籍 地

死 年 月 日 昭和二十年二月七日

死 亡 原 因 戦 死

死 亡 場 所 ルソン島 スエバエニバ洲 ルパオ

傷 病 名

着 遺 体 発見 場所 中 隊 進 射 携 行 シ 武 装 解 示 際 米 軍 ニ 押 込 レ

死 年 月 日 昭和二十年二月七日 時刻 ルソン島 スエバエニバ洲

死 時 刻 戦 斗 中 頭 部 及 ビ 左 側 腹 部

死 因 銃 創 戦 死 ス

死 時 所 在 部隊 名 撃一二一〇六部隊

死 時 所 在 陸 軍 兵 長

死 時 所 在 部 隊

死 時 所 在 部 隊

死 時 所 在 部 隊

此圖為《蘭亭序》的局部，展示了王羲之的行書風格。文字內容為「永和九年歲次癸丑暮春之初會於會稽山陰之蘭亭脩禊事也群賢畢至少長咸集」，筆法流暢，墨色濃淡相宜，展現了行書的動感與韻味。

[illegible]

右確認す
昭和三年一月一日

舊部隊
舊官等級
死者家屬
居住場所

第九卷 行場

卷之六
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名義柄 戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬部隊名

第十師團 歩兵 第五旅団 第三大隊 第三中隊

三、戰死者徵集年月

昭和八年 役種現役 兵種步兵 死に前官等陸軍一等兵 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和八年 一月 一日 午前 九 時 三十分 島 阿 比 留

五、戰死現認ノ程度

現認 死体確認

六、遺骨歸還ノ有無

不

七、戰死當時ノ状況ノ概要

敵ト討立ニ赴キ、敵ハ空陸並ニ同ニテ攻撃、戦烈ナリ、戦部隊散リ、戦死ス。

八、死亡區分

戦死

軍田理記

年 月 日 昭和 年 月 日

九、其ノ他

(上陸地ニ於テ死シ、戦死トシテ、又、不明等記入) 中支隊、上陸年月日及上陸地

二、遺族ノ現住所

戦死者トノ義柄 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

兵種 步兵 官等 陸軍

任長

氏名

市町村長證明箇所

前記ニ示シタル通り、戦死ス。

昭和 年 月 日

課長

係長

主任

職 務 首 領 認 證 明 書

昭和22年7月10日

固有部像名

三三三通一甲隊

通稱號

一五三三三部隊

死亡前階級

一等兵

死亡後階級

二等兵

徵集年

役種

兵備 飛行員

年 月 日生

本 籍 地

[Redacted]

留守所

現病氏名

死亡月日

右の首昭和

20年2月9日

時 分

に於て

場所

熱帯(熱)

に依り(病死)せしことを確認す

遺骨

石塚 昭 彰

3. 説 據 書 類

2. 遺留品

其の他

現 認

依 拠

(印)

親 住 所

製 所 部 象

同 部 隊

(課別)

各 課 係 長 印

16-11

302

[illegible]

17-12

船和年二月十日

此島北岸カワヤシ附近

戰
看
死

マニヤや戦争、鬼ト

南方出常陳四也ノ矢カイヨ
解字則九ノイニ盡要凡矢

左

卷之五

和華經

[illegible]

姓名	担	當	育
現住所	續柄		

五

75

時

狀。

此武野道為最出陣ノ一
ソニテ其方回復多クありトハ強敵作戦ニ
此況更化ノ為至矣持成隊ニナリ作
備重權確保ノ陣中アヨリ也
為遂ニリヤニ討テリ者校テ
為死ナセマシタ

元禄五年上御紀事。関係

同部内務省。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。

数人より

現認者

元禄者経歴

元禄

一、元禄五年四月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年五月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年六月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年七月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年八月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年九月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年十月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年十一月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年十二月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年正月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年二月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。
一、元禄五年三月、上御紀事。近き数人より南の方へ多量の金。物。共。

威一四、五御隊

[Redacted]

陸軍佐長

[Redacted]

昭和三年一月二十日頃佐佐木(北)少將(北)佐木隆之

一補佐佐木隆之(前)少將(北)佐木隆之

威一四、五御隊

[Redacted]

陸軍上等兵

[Redacted]

石藤本、有本、相道、下等兵、可、誤、認、不

昭和三年四月五日

[Redacted]

[Redacted]

406

戦歿者確認(證明)書

一 死歿者所属部隊名(通稱) 戦隊第二十九回部隊

二 戦隊年 昭和二十一年 兵種 歩兵

三 第幾回(死歿) 第一回 (死歿者)

四 氏名 [Redacted] 年 月 日生

五 死歿場所 [Redacted] 隊員

六 死歿原因 [Redacted] 隊員

七 死歿年月日時 [Redacted] 年 月 日 時

八 死歿者不歸地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年 月 日 元所部隊隊長 戦隊第二十九回部隊

現任所

元官印

氏名印

此書は戦隊本部に提出し、戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

戦隊本部に提出した場合は、戦隊本部に提出したものと見做す。

○本表中捺印の欄以外は世脂部にて記入すること
○肥戟上の注意並に履曆欄は裏面にあり（肥戟上の注意をよく讀んでから記入の事）

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戦死者 氏名

氏名

年

日

日生

164-11

二、所属部隊名

三、戦死者役年

四、戦死年月日時刻及場所

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

九、其ノ他

一〇、遺族ノ現在所

戦死者トノ戦死者

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和ニニ年 月ニ日

證明者住所

戦死者外簡保

所属部隊名

兵種 歩兵 官等 少佐

氏名

市町村長證明書所

印

死亡證明書

所屬部隊	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項
地方自治	地方自治	死亡原因	死亡時間	死亡場所	死亡證明書	其他事項

右證明致

昭和二十五年五月六日

證明書 本局 地方自治 死亡原因 死亡時間 死亡場所 死亡證明書 其他事項

13-10

戦死者證明書

64-10

故陸軍一等兵

昭和九年八月五日西都三郎隊入少
昭和九年八月五日西都三郎隊入少
廿二日字記述より出港同年九月廿一日
米陸本艦の攻撃より敵の戦艦掃蕩され沈
没二機二機撃つた、同日廿六日「大木」兵被
病院二入院同年十月廿日退院「大木」兵被
一返成二より昭和九年十月十日西都三郎隊
情報部「戦死」同年十一月十一日「大木」兵被
一戦死兵被と三十一日「大木」兵被
戦死二兵被情報部「戦死」同年十一月十一日
「大木」兵被戦死と三十一日「大木」兵被

左記戦死者

證明

十四日西都三郎隊

陸軍一等兵

昭和九年九月廿二日 戦死者

本籍地

元々隠微(確証)證明書

所屬部隊

一死士軍十月四日

昭和三年二月十一日七時。分

一死士場所

一死士正分

一死士(通分)

一死士(通分)

一死士場所。状況

十

新病

此島北野に、島民が水命

昭和三年四月十日

右現証(確証)

昭和三年四月十日

昭和三年四月十日

昭和三年四月十日

5

川集部內

對對車馬年三隊

卷之十一

昭和二十年二月二十日

卡
籍
地

才亡前燕

陸寧上卜策

元
亡
所

山

傷病名

急性肺炎

卷之四

八

見

クハク州 来りて、
陳地を耕作す

油

經明年月日

右の通り證明する

（昭和二十一年一月）

卷之四 上 戲記

[illegible]

者認現

所屬部隊

對戰車戰車第二中隊

本籍地



現在所

右田少

階級氏名

445

男

状況不明者の資料届

本籍地

所属部隊 海軍提進基地第七大隊

通称名 威才二八四九部隊

一等兵

昭和二十年二月十三日ダンバリツト攻防戦にて砲弾破片

腹部貫通にて戦死す

遺骨遺品なし

威才二八四九部隊

伍長

死歿確認書

一 籍地

[Redacted]

二 死歿者 官等級 氏名

陸軍歩兵少尉 勲一等

生年月日

昭和九年四月一日

住官年月日 昭和九年四月一日

三 死歿場所 要否

北部呂宋島「ナ」胸部貫通銃創死

四 死歿時 所屬部隊 氏名

北島巡邏隊 第五三四部隊

五 死歿年月日

昭和二十年二月十三日午後一時

右を通し

[Redacted] 戦死を事実上確認

昭和二十二年九月三十日

六 籍地

[Redacted]

陸軍少佐

月
日
時
分
秒
功
助
補
要

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

死後三日（陰曆八月）

事實(現認)證明書

本籍地
現住地

所屬部隊

通稱姓名
官等級氏名(死亡前)

昭和四年四月

右の者昭和四年五月十五日午後六時五分ハノ島
ヲ要山に於て戦死(死)したことを證明する

所屬部隊

現住地

死亡者との關係

(舊)職官等級氏名

右の者は昭和四年五月十五日ハノ島に於て戦死したことを證明する

13-12

死亡當時状況

昭和十一年一月二十日、敵方五三三部隊、陸軍中隊、
新田地、莫二兵、莫兵、及糧食、輸送、米、油、食料、其、兵、食、中、隊、行、動、進、
中、隊、を、優、秀、に、自、衛、隊、長、合、二、十、名、部隊、本、部、前、日、果、合、入、二、前、に、命、令、二、
文、長、ハ、選、拔、セ、レ、ウ、ウ、敵、隊、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、
敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、
敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、

遺骨、状況

敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、

敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、

ハ、生、死、不、明、ト、ナ、リ、二、死、リ、道、骨、二、示、明、
ハ、生、死、不、明、ト、ナ、リ、二、死、リ、道、骨、二、示、明、

ハ、敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、

敵、方、二、月、三、日、未、明、敵、方、隊、新、隊、入、敵、軍、進、路、止、二、切、込、

新居加隊 威才一五三一初隊

現任地

死者者六國鄉

同軍品

戰友

陸軍上等兵

13-14

現認證明書

水籍地
所屬部隊

一死亡年月日時

昭和二十年二月五日三時五分

(死亡前陸軍之軍民名)

一死亡場所

北島バヤン半島心身之陣死

一死亡区分

頭部貫通即死

一傷(病)名

一死亡當時狀況

昭和二十年三月五日
[redacted] 係陣死之合隊前和
[redacted] 係陣死之合隊前和
頭部貫通即死

左現認

昭和二十三年三月七日

現認者

現任所
元所屬部隊北島津盛盛元陸軍少佐
階級陸軍中佐氏名 [redacted]

死亡現認證明書

本籍地

所屬部隊(固有名)

船工(野補)

(通稱)

徵集年

年

役種

現

兵種

船

官等級 死亡前後

氏名

生年月日

月

日生

留守擔當者

本以籍地ニ在

姓 氏名

死

年月日時及區分

昭和 20 年 12 月 10 日

時

分

戰死

亡

場所

比島(七下)島陸軍病院

傷

(病)名

病名不明

受

年月日時

昭和 20 年 12 月 10 日

時

分

36-11

臺灣茶區之分布

受傷（罹病）の状況

內地港灣出發
駁船到港
年月日

勤務の概要

昭和十九年一月二十三日
昭和十九年一月二十三日

右の通り現認したことを證明す

順治二十二年十一月

水

所
變
示
一
部
部

卷之五



印

[REDACTED]

地方世話部

524

現認（死亡）証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊

固有名称

船舶工兵隊

通稱

一夫七四二

年集

種 役

現役

種 兵

工兵

級等官

前死亡

死亡

名 氏

生年月日

ルソン島

日生

死亡年月日時

昭和 20 年 2 月 15 日 午後 10 時 20 分

死亡場所

ルソン島

死亡區分

戦死

傷病名

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時

の状況

ルソン島の戦いに於て敵の
砲火に当たり戦死
したと見られる

遺留品
の有無

右證明候也

昭和 20 年 5 月 12 日

所屬部隊

船舶工兵隊

現任所

官等級氏名印

陸軍少佐

地方世話部長

殿

本籍地
留守役者

父

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊 固有な

新編美軍第3師団隊

通稱

昭一六七四二

死 年 月 日 時 分

昭和 20 年 2 月 25 日 午前 時 分

死亡場所

ルンギン

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

死 亡 場 所

右 証 明 候 也

昭和 23 年 5 月 12 日

所屬部隊

新編美軍第3師団隊

現任所

新編美軍第3師団隊

官等級氏名印

新編美軍第3師団隊

証 明 者

地方世話部長

殿

53-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊 固有名称

船橋工兵隊

通稱

曙一三七四

年 月 日 時

理 役

船 船

級 等 官 前 亡 死

後 亡 死

名 氏

生 年 月 日

年 月 日

月 日

日生

死亡年月日時

昭和 20 年 2 月 15 日 午後 時 分

死亡場所

ルソン島ボソ

死亡区分

戦 死

傷 病 名

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時

の 状 況

ルソン島ボソの戦いに於て
敵重砲の集中射撃を受け全員
爆創に依り戦死

遺 留 品
の 有 無

右 證 明 候 也

昭和 23 年 5 月 12 日

所屬部隊

船橋工兵隊

官等級氏名印

地方世話部長

昭和 23 年 5 月 12 日

54-70

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 屬 部 隊 固有 名

海軍砲兵隊 第 四 隊

通 稱 號

海軍砲兵隊 第 四 隊

年 集 団

役 職

補 佐

和 兵

砲 兵

級 等 官

前 任 死

等 兵

後 任 死

名 上

生 年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

死 亡 年 月 日 時

昭和 二 年 一 月 一 日

午 前

午 後

時 分

死 亡 場 所

北 部 下 痢

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

死 亡 區 分

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

死 亡 時 刻

昭和 二 年 一 月 一 日

午 前

午 後

時 分

死 亡 場 所

北 部 下 痢

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

死 亡 時 刻

昭和 二 年 一 月 一 日

午 前

午 後

時 分

死 亡 場 所

北 部 下 痢

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

死 亡 時 刻

昭和 二 年 一 月 一 日

午 前

午 後

時 分

死 亡 場 所

北 部 下 痢

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

死 亡 時 刻

昭和 二 年 一 月 一 日

午 前

午 後

時 分

死 亡 場 所

北 部 下 痢

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

マ ン ン ン

右 證 明 候 也

昭和 二 年 一 月 一 日

所 屬 部 隊

海軍砲兵隊 第 四 隊

現 住 所

海軍砲兵隊 第 四 隊

地方世話部長

殿

海軍砲兵隊 第 四 隊

63-10

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊 武第二六九九部隊

徵集年 昭一七

官等級 陸軍上等兵
氏名

有ノ者 昭和三十年 二月十五日 時

分比 傷ニ於テ 明ニ依リ 戦傷

清死シタルコトヲ 證明(現認)ス

昭和三十一年十二月二十五日

所屬部隊 歩第三五十六隊 第三中隊
職名 兵 隊員

官等級 陸軍上等兵

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス

二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

58-11

329

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊 武第一〇六九九部隊

徵集年 昭一八 氏名

右ノ者昭和二十年 二月十五日 時

分此ニ於テ 明ニ依リ戰傷

將死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年十二月十五日

所屬部隊 歩兵第五十六大隊第三中隊

職名 兵隊

官等級 陸軍上等兵

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

59-1

330

神祇

神社

神社

成吉思汗部族 蒙古
官署 蒙古 蒙古 蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

一、成吉思汗部族

神元

蒙古

死 没 証 明 書

別属部隊 比島派遣隊第三五七部隊四中队

官 年 陸軍上等兵

氏 名 [REDACTED]

本籍地 [REDACTED]

監育姓名 [REDACTED] 父 [REDACTED]

死没年月日 昭和二十二年二月十五日

同場所 シーテ島

同原因 戦病、死

死没事由 大腸炎にて病死（口中自發病）

同経過 分隊長 [REDACTED] 隊長より傳言
[REDACTED] 隊長は其の後戦死（[REDACTED] 文）

裁断 為貴遺骨遺留の旨し

右証明 了 了

昭和二十二年三月二十三日

証明者 本籍地 [REDACTED]

所属部隊 比島派遣隊第三五七部隊三中队

官 年 陸軍上等兵

氏 名 [REDACTED]

民生部第一世話課

者製調

E-11

○本表中央の欄以外は第一世活隱にて記入すること
○記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり(記載上の注意をよく讀んでから記入の事)
○不備事項中判明しあるものは各姓にて朱書すること

死
亡
者
現
認
畫

[illegible]

浙康郡職 南上女弟十二陸軍病院
現任浙
官身教文名印
主軍衛生部

陸軍衛生中隊

所属部隊		氏名	性別	年齢	職業	住所	死亡年月日時	死亡場所	死亡原因	死因の詳述	遺品
第100部隊		田中 隆夫	男	22	兵	東京都豊島区	昭和21年7月17日	東京都豊島区	戦傷	於千木原、自軍砲弾に被弾、腹部に重傷を負い、翌日、東京都豊島区に入院、翌日死亡。	無
第100部隊		田中 隆夫	男	22	兵	東京都豊島区	昭和21年7月17日	東京都豊島区	戦傷	於千木原、自軍砲弾に被弾、腹部に重傷を負い、翌日、東京都豊島区に入院、翌日死亡。	無

右證明致し

昭和21年7月17日

東京市 死亡証明書 第1000号
 田中 隆夫
 第100部隊
 東京都豊島区

死亡証書

本籍地	[Redacted]		
所属部隊固有名	[Redacted] 通称 [Redacted] 以 [Redacted] 隊		
第 [Redacted] 集年 (任官年)	役	補兵	死亡前官階 (任官年 月 日)
		通信	陸軍伍長
留官者	任	[Redacted]	
	細内氏名	妻 [Redacted]	
死亡年	昭和二十二年	死亡場所	呂宋島 [Redacted] 西方山 [Redacted]
死亡原因	戦死	死亡場所	八波洞
死亡後の要否	遺留品	[Redacted]	
死亡状況	昭和二十二年 [Redacted] 攻勢中 [Redacted] 配属 [Redacted] 隊 [Redacted] 中 [Redacted] 砲火 [Redacted] 行衛 [Redacted] 不 [Redacted] 死 [Redacted]		

右の通り相違なきことを證明する。

昭和二十二年 四月 二十 日

本籍地 [Redacted]
(現住地) [Redacted]

所属部隊 以島 [Redacted] 隊

階級氏名印 [Redacted]

12-10

437

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 姓 戸主

氏名

年 月 日生

139-11

二、所属

十師團 歩兵 第七十聯隊 第五中隊
比島 派遣隊 第四四七部隊

三、戦死者徵集年 昭和十六年 役種 現役 兵 死 亡 前 官 等 級 陸 軍 少 佐 在 官 日 昭 和 年 月 日

四、戦死年月日時時刻及場所 昭和十六年三月十七日 ルン新 アニカン

五、戦死現認ノ程度 確報 死体 後日 発見 され ず

六、遺骨歸還ノ有無 不明

七、戦死當時ノ状況ノ概要 敵機 来 襲 時 大 火 後 九 十 頃 空 降 下 爆 撃 あり

八、死亡区分 戦死 事由 陣亡 年 月 日 昭 和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸 前 戦 死 者 最 後 之 行 状 等 記 入 可 也 又 不 明 等 記 入 可 也) 申 立 書 ナ レ ば 上 記 年 月 日 及 上 記 地 所 等 記 入 可 也

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ姓 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

比島 派遣隊 第四四七部隊
兵 曹 長 官 最 後 官 長

氏名

市町村長證明箇所

市町村長 証明 箇所

印

330

死亡證明書

一本籍地 [redacted]

現住所 [redacted]

所屬部隊 陸軍 [redacted] 部 (陸軍士官學校)

徵集年 [redacted] 官 [redacted] 陸軍軍醫 (軍醫護士)

右 [redacted] 二月十七日 時刻 [redacted] 詳分

長島 六六六 二 於 [redacted] 戰場

死亡證明書

(一) 病 名 [redacted]

(二) 徵集年 [redacted]

(三) 所屬部隊 [redacted] 部 (陸軍士官學校)

(四) 遺族 [redacted] 氏 [redacted]

(五) 遺族 [redacted] 氏 [redacted]

(六) 遺族 [redacted] 氏 [redacted]

昭和五年 二月 [redacted]

所屬部隊 (陸軍士官學校)

官 [redacted] 陸軍軍醫 (軍醫護士)

氏 [redacted]

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱號) 第一〇五部隊
- 一、戦歿年 昭和五年 戦歿月 八月 戦歿日 廿五
- 一、官位(死歿前) 兵 長(死歿後)
- 一、氏名 長谷川(死歿後)
- 一、死歿場所 新加坡
- 一、死亡区分(事由) 戦死
- 一、死歿年月日時 昭和五年八月廿五日
- 一、死歿者本籍地留守番書

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名

第一〇五部隊

現住所

元官位級

陸軍少佐

氏名印

長谷川

註 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
クワシクオ知ラセ下サイ

宛先

石金(不二越内)

地方世話部駐恤係



姓名	職名	死亡年月日	死亡場所	死亡原因	備考
田中 重雄	大工	昭和二年三月	東京市	肺炎	
佐藤 清一	小工	昭和二年四月	東京市	肺炎	
山田 健一	大工	昭和二年五月	東京市	肺炎	
鈴木 健一	大工	昭和二年六月	東京市	肺炎	
高橋 健一	大工	昭和二年七月	東京市	肺炎	
田中 重雄	大工	昭和二年八月	東京市	肺炎	
佐藤 清一	小工	昭和二年九月	東京市	肺炎	
山田 健一	大工	昭和二年十月	東京市	肺炎	
鈴木 健一	大工	昭和二年十一月	東京市	肺炎	
高橋 健一	大工	昭和二年十二月	東京市	肺炎	

昭和二年三月
月十五

昭和二年三月
月十五

昭和二年三月
月十五

11-12

死亡者姓名	死亡場所	死亡年月日時分	死亡原因	死亡場所	死亡年月日時分	死亡原因
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死
佐々木 文次郎	海軍少佐	昭和八年二月一日	戦死	佐々木 文次郎	海軍少佐	戦死

昭和八年二月一日
佐々木 文次郎
海軍少佐
戦死

55-10

現據警署

[Redacted]

此係...
...
...
...
...

比島張慶威 百大木三郎 長
上等文

野砲兵 徵集年月日 於九年一月拾五

昭和元年二月拾九日

比島カール島

戰死

新田

此係...

此係...

[Redacted]

右相違無事之證明

現據警署...

昭和三年七月大日 所屬部隊...

現住...

[Redacted]

[Redacted]

344

死亡現認證明書 昭和三年三月

所属部隊 第一八飛行場大隊 死亡場所 比島ルンレ島バスカ

死亡年月日 昭和三年三月二十九日 死亡原因 戦死

氏名 陸軍任長 受傷箇所 戦死

遺体 遺品 ナシ 発病年月日 昭和三年三月二十九日 発病

現認事由

右現認する
任長ハ昭和三年三月二十九日比島ルンレ島バスカ
戦死セリ遺体ナシ遺品ナシ
中隊長立合ニ埋葬

記載上注意

一現認事由は死亡當時の状況を詳細に記入す
一遺体は必ず死亡前にて
一確度(甲)は正確ノは概算(乙)は誤り
一氏名(下)は捺印を必ず忘れぬこと
一故人との関係は中隊長 分隊長 隊友等
ハ別を記入す

證明者

氏名	陸軍任長	戦友
現任所	比島ルンレ島バスカ	
中隊長	立合	

54-12

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名

部隊(艦船隊)

通稱名 威三九四部隊

徵集年 大正三年 役種

兵種 甲種兵

官等級(昭和)

年 月

日(發令)氏名

一、死亡年月日時分

昭和二十年二月二十日 午後六時二十分

年 月 日生

二、死亡原因及傷病名

新死 胸部貫通銃創

三、死亡場所

マニラ市外バングワ河自軍サニター十號馬場近

四、死亡状況

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

昭和二十年二月二十日 自隊同行シ死亡シテ同隊者

五、遺骨及遺留品の有無

並に遺書(状況)

ナシ

ナシ

昭和二十一年十月十四日

元所屬職員(固有者)比島在留邦人

(通稱名)

現住所

一、死亡者本籍地

舊所屬職員名比島在留邦人

二、留守擔當者の住所欄柄氏名

妻

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十一年十月 五日

現認(事實)証明書

本籍地

所屬部隊(固有名) 陸軍第二五〇師 通稱名 威三三二

徴集年 昭和 年 月 日 兵種

官舎(昭利) 年 月 日 姓名(氏名)

一、死亡年月日 昭和 年 月 日 時 分

二、死亡原因及傷病名 戦死 胸部中絶

三、死亡場所 山

四、死亡状況

五、遺品及遺留品の有無

六、死亡に関する書類の有無

右の通り相違ない事を証明する

昭和 年 月 日 元所屬部隊(固有名) 陸軍第二五〇師

(通稱名) 威三三二

現住所

官舎(昭利) 年 月 日 姓名(氏名)

一、死亡年月日

二、死亡原因及傷病名

三、死亡場所

右の通り相違ないことを証明する

昭和 年 月 日

証人 郡 町 市 長

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱) 陸軍 〇五三ノ部隊
- 一、戦災年 昭和二十一年 役種 歩兵 兵種 歩兵
- 一、官等(死歿前) 兵長 (死歿後)
- 一、氏名 〇〇〇〇〇〇
- 一、死歿場所 〇〇〇〇
- 一、死亡區分(事由) 戦死
- 一、死歿年月日時 昭和二十一年二月二十日 日 〇時
- 一、死歿者大體地留(遺骸) 〇〇〇

右確認(證明)ス

昭和二十一年一月二十日

元所屬部隊名 〇〇〇

現住所 〇〇〇

元官等 〇〇

氏名 印 〇〇

註、死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ初細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクワシク知ラセ下サイ

宛 先 〇〇

地方世話部慰恤係

戦死者確認(證明)書

一、死没者所属部隊名(通稱)

一、戦没年 昭和九年

一、官階(死没前) 上等兵

一、氏名

一、死没場所

一、死亡区分並ニ事由

一、死没年月日時

一、死没者本籍地

右確認(證明)不

昭和 年 月 日

元所属部隊名

現住所

元官階

氏名

註 死亡事由、場所ハナルベク、特ニ戦没後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニ在ラズ者ハソノ前後、
タラシク告知ラセザイ

宛先

地方世話部慰恤係

現 認 者				死 亡 者				看 本 籍 地	
現 任 所	所 属 隊	同 隊	官 階 級 位 長	死 場 所	区 分	日 時	死 亡 種 類	姓 名	通 稱 号
昭和三十二年十月三十一日	独立自動車又二天口平隊	同 隊	官 階 級 位 長	中 戦 死	戦 死	昭和三十年二月二十日	歩 兵 中 尉	姓 名	尚 武 天 口 五 九 部 隊
				遺 骨 収 入 記	病 傷 名	昭和 年 月 日			
				ナ					
				シ					

現 認 証 明 書

尚 武 天 口 五 九 部 隊

死後証明書

所属部隊 旭第二二部隊
官 兵 陸軍一等兵

氏名 [Redacted]
本籍地 [Redacted]

留予坦當者 [Redacted] 妻 [Redacted]

死没年月日 昭和十年三月二十日夜

同場所 赤ノ高地

同区 分 戦北

死没事由 昭和十年三月廿日、敵兵陸軍赤ノ高地に死す中、軍司令部より後退命令にて後退中、敵小銃弾にて戦死せし由。

所経過 [Redacted] (有聞) [Redacted] 官長は同年三月病死于

（長年病苦過） 戦死。為遺族遺留品可し

右証明致し奉る

昭和十二年 二月 二十六日

証明者 本籍地 [Redacted]

所属部隊 旭第二二部隊

官 兵 陸軍兵

氏名 [Redacted]

戦死資料

本籍地

部隊

比島派遣隊一九五五部隊(船通聯)

戦役

一 内地出陣年月日

昭和十九年八月七日 宇品港

二 到着年月日

昭和十九年十一月十日 マニラ

三 帰国年月日

同三十年一月一日 比島西海軍マニラ港上陸

昭和十九年十一月十日 マニラ港上陸

一 戦死年月日場所

昭和十九年十二月三日 午前九時三十分 マニラ司令部前

敵砲弾より為頭部貫通銃創

一 戦死原因

内務省

昭和十九年八月七日 宇品港 戦死 比島派遣隊一九五五部隊(船通聯) 戦役 昭和十九年十一月十日 マニラ 帰国 同三十年一月一日 比島西海軍マニラ港上陸 昭和十九年十二月三日 午前九時三十分 マニラ司令部前 敵砲弾より為頭部貫通銃創

19-12

と申すは、お許しの程願ひます。御息下
君は廣島より同一部隊が赴居
共にし親しく大り又私共は牛腕と成り部隊の教育の務に精務致し令へ御下
青葉の山崎別佐路と帯いて赤々かマラに出来致ししは、昭和十九年一月七日青島港より
途中奥雲に見舞はれ、十月五日マラに到着。毎日の空襲を部隊り
移動なり。十二月三日、三つ港出帆、夜間行進、一月七日比島西海岸マシロフと云ふ所に
達し、全員と陸海軍中隊の戦い、十五隻の内一隻は、やうに任す、大隊長
以下五六名の行軍を北進。比島の山野を行軍する事四七日、其の間戦死数回、三
地この部隊に着き、二月十八日、(三ノ名中到着者四名のみ)略

君は非常に元氣で病氣一つせず高き居り、二月三十一日午後九時半分
司令部前に於て敵砲弾の鳥頭部貫通銃創にて之れが戦死され、
八ヶ月が自衛に、マヤン、付にもあつた、お前さん下し、戦友が多つて高森山
中隊に葬り、私が墓標に政陸軍任長、
遺骸は戦友があつた、佐所と遺品は私があつた、
終戦後、

遺骸は戦友があつた、佐所と遺品は私があつた、

19-13

姓名 [Redacted]	生年 [Redacted]	生月 [Redacted]	生所 [Redacted]	職 [Redacted]	人 [Redacted]	知 [Redacted]	右 [Redacted]	所 [Redacted]
現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]	現任 [Redacted]
備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]	備考 [Redacted]

隊長

係長

主任

主任

(別記)

戦死者確認証明書

昭和22年7月6日

固有部隊名

三三航通一中隊

通稱

三五三七部隊機隊

死亡前階級

一等兵

死亡後階級

兵長

徴集年

昭一七

役種

地役兵

本籍地

昭一七

役種

地役兵

留守階級

昭一七

役種

地役兵

姓

昭一七

役種

地役兵

死亡月日

昭一七

役種

地役兵

場所

昭一七

役種

地役兵

遺骨

昭一七

役種

地役兵

遺留品

昭一七

役種

地役兵

住所

昭一七

役種

地役兵

所属部隊

昭一七

役種

地役兵

備考

昭一七

役種

地役兵

備考

昭一七

役種

地役兵

備考

昭一七

役種

地役兵

現認證明書

此島派遣駿第一〇高部隊

陸軍上軍天

右者昭和二十一年三月五日此島若米島公在於

爆 表

三依り戰死(野井北)也ルコトヲ現認

昭和二十一年三月五日

現認者元此島派遣第四〇一部隊

現任所

氏

[Redacted]

隊長 陸軍衛生曹長

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名額納戸主

氏名

年 月 日生

66-11

二、所属

部隊名

第...師団...旅団...連隊...中隊...

三、戦死者徴集年

年

役種

現役

兵種

歩兵

死亡前官等級

陸軍上

年月日昭和 年 月 日

四、戦死年月日時

時刻及場所

昭和...年...月...日...時...分...秒...場所...

五、戦死現認ノ程度

現認 (戦死偶泊現認)

六、遺骨歸還ノ有無

不明

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要...

八、死亡区分

戦死

事由

爆撃...

発病年月日

昭和 年 月 日

九、其ノ他

戦死ノ理由

戦死ノ理由...

十、遺族ノ現住所

戦死者ノ額納文

氏名

右ノ通り

戦死セラレタル

コトヲ

証明候也

昭和...年...月...日

証明者住所

戦死者ノ関係

所属部隊名

第...師団...旅団...連隊...

兵種 歩兵 官等級 陸軍上

氏名

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

昭和二十二年三月八日

事實證明書
昭和十九年 月 日

本籍地 [redacted] 現住所 [redacted]

新部隊 [redacted] 通稱號 戦力二五三部隊

舊有姓名 [redacted] 役種 兵種步兵 官等級 死上等兵 他役 [redacted]

氏名 [redacted] 留守擔當者 氏名 [redacted] 籍貫 [redacted]

生年月日 [redacted] 住所 [redacted]

勤務概要 昭和十九年九月四日 門司波本村 昭和十九年十月一日 島根縣北松江市 上野 昭和十九年十月一日 島根縣北松江市 上野 昭和十九年十月一日 島根縣北松江市 上野 昭和十九年十月一日 島根縣北松江市 上野

發病 發熱(位)	死亡
年月日	年月日
昭和十九年 一月十日	昭和十九年 二月二十日
場所	場所
北松江市 十ノ下	北松江市 八ノ下
状況	状況
發熱・寒震中等 胸部異常	死時ノ 不詳

證明書

本籍地 [redacted]

野間部隊 水自奉師団 野間部隊 水自奉師団

官等級氏名 [redacted] 連中尉 [redacted]

[illegible]

死後遺体発見の経緯

昭和十八年十一月十四日 陸軍教育隊

昭和十八年十一月十四日 陸軍教育隊

死亡遺体本籍地

昭和十八年十一月十四日 死亡前職見主

昭和十八年十一月十四日 死亡後職見主

名 氏 年 月 日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

死後遺体発見の経緯

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日 昭和十八年十一月十四日

死亡確認書

右確		マニラ防衛司令部		固有通稱		...	
一六六七一威				兵役仕		...	
歩		二補		兵役仕		...	
長兵		死後		生		...	
[Redacted]		[Redacted]		名氏		...	
[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		...	
[Redacted]		[Redacted]		本籍地		...	
[Redacted]		[Redacted]		留守		...	
文		[Redacted]		現住		...	
[Redacted]		[Redacted]		所年月日		...	
確		戦死		昭		...	
甲		[Redacted]		比		...	
確		[Redacted]		マニラ		...	
甲		[Redacted]		中		...	
確		死		遺		...	
[Redacted]		[Redacted]		遺		...	
[Redacted]		[Redacted]		品		...	

現住
 氏名
 死亡者の関係
 馬尼ラ防衛司令部
 歩兵
 一等兵
 友人

戰時死亡者現認證明書

(通)		隊部屬所	
(個)			
昭和二年三月一日	時日	年	月
死		場所	
死		分	
死		事	
死		由	
(留置) 留置		控役	
控役		前上死	
後上死		實身振	
氏		名	
本籍		地	
留年現當者現任所		(續柄) 休	
名			

右現認

所屬部隊 現住所 官署服氏名 陸軍省 陸軍省 陸軍省

調製上ノ注意

- 一 陸軍省ハ通称 國有財産ノノミ判明有様ニ記入コト
- 二 死亡機ハ未だ未だハ限リ詳細ニ特ニ事ハハ傷病者ニ付テハ陸軍省ハ於テ連絡ヲ要ヤ事ハ他省ハ資料等併セ記入コト
- 三 遺骨(遺骨)ハハ有様ニ付テハ陸軍省ハ於テ連絡ヲ要ヤ事ハ他省ハ資料等併セ記入コト
- 四 認印ヲ忘レヌコト

死亡者現認證明書

所屬部隊 國有各軍航空情報聯隊 威一八九一大部隊

本籍地

徵集
昭和十一年
種一國

步兵

死年月日時刻 昭和二十一年二月三日

時

死場所

比島呂宋島イホ

死亡區分 戰死

死

全身被下爆彈破片創

發覺病過原因 昭和二十一年二月三日

現住所

續柄

妻

代名

遺骨遺留品の有無

ナシ

遺族承認の有無

ナシ

所屬部隊 國有各軍航空情報聯隊 威一八九一大部隊

官階 陸軍兵長

現住所

昭和二十一年二月三日

時

死場所

比島呂宋島イホ

全身被下爆彈破片創

氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付
氏名	職名	死に付	死に付

昭和十九年九月廿五日 東京 元四〇部隊 船舶部 出航
 十月十五日 大連 入港 八月二七日 日三三番 昭和二十年二月
 昭和二十年二月十五日 部隊解散 二十七日 海上 突破 三三港
 昭和二十年二月十五日 部隊解散 二十七日 海上 突破 三三港

昭和十九年九月廿五日 東京 元四〇部隊 船舶部 出航
 十月十五日 大連 入港 八月二七日 日三三番 昭和二十年二月
 昭和二十年二月十五日 部隊解散 二十七日 海上 突破 三三港
 昭和二十年二月十五日 部隊解散 二十七日 海上 突破 三三港

死亡事實證明書

本籍地

現任所

所屬部隊

死亡前階級

役年

名

昭和二十年五月二十五日頃

彈創ニテ戦死ス

石佛殿ニ證明ス

昭和

現任所

部隊名

戦氏各印

合同

独歩三五九大

軍

死亡後階級

役種

兵種

氏名

通稱

威一〇六七六

妻

ルソニ島フラク州アノカト西南高地ニテ迫撃砲

年 月 日

威一〇六七六部隊

陸軍軍曹

隊

趙強道。麻強道。

通鑑纂要

下江地方

三
 二
 三
 五
 九
 詩
 廣

生書

日觀
石

頭部直脈

七

昭和四年一月一日發行

各同。日。年。月。之。處。重。獲。國。氣。彈。烟。初。習。

100

證
元
所
屬
部
分

明
本
籍
所

看
唱
發
歌
金
原
三
夏
心
我
友
同
年
進

10



100

100

1

[illegible]



昭和二十一年 月 日 第 號

地方世話部 死亡者 認定票

昭和二十一年 月 日 調製
留 守 業 務 課

通稱名 威五三十四

本 籍 地

所屬部隊名 固有兵

獨歩士隊

年 齡 昭 小

種 役 現

種 兵

步

級 官 前亡

曹

後亡

名 氏

死 亡 年 月 日 時

昭 20

2

25

1700

死 亡 地 所

小笠原島 聖心大洲カラクシ 東京府

死 亡 區 分

戦

死

傷 亡 名

迫要砲陣より頭部爆創

現 住 所

同本籍地

留 營 者

續 姓

父

氏 名

名 稱 所 見

調査 決定

右現認す

資料及 入 手 経 路

等二大研獨歩士隊

衛生隊

印

停止名簿頁

載 二 ス 抹 消 ア

判 決

官 給 等 級

点 檢 印

認定 進 級 告 知 記 録

67-1

昭和二十二年十一月八日 死亡者調査表 昭和二十二年十一月五日 戸別調査

死亡者調査表

昭和二十二年十一月五日

戸別調査

所屬部 間省 役所 役職 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

昭 兵 歩 上 伍 氏名 住所 備考

本表は、昭和二十二年十一月五日、戸別調査の結果、死亡者調査表として作成されたものである。記載事項は、死亡者の氏名、住所、年齢、性別、職業、死因、備考等である。記載事項は、死亡者の氏名、住所、年齢、性別、職業、死因、備考等である。

戦病死證明書

昭和 年 月 日

姓名	氏名	生年	生月	生日	死亡年月日	死亡場所	死因	備考
山田 太郎	太郎	昭和 年	月	日	昭和 年 月 日	戦場	戦死	
父	山田 一郎	昭和 年	月	日				
母	山田 一郎	昭和 年	月	日				
住所	山田 一郎 住 山田 一郎 住 山田 一郎 住							
職業	山田 一郎 住 山田 一郎 住 山田 一郎 住							
備考	山田 一郎 住 山田 一郎 住 山田 一郎 住							

57-10

地方世話部

大川納

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 陸軍第七〇八部隊
- 一、徵集年 昭和三十八年 役種 兵 兵種 工兵
- 一、官等(死歿時) 一等兵 (死後)
- 一、氏名 [Redacted] 年 月 日生
- 一、死歿場所 比叻 [Redacted] ノトスラング
- 一、死亡區分 戦死事由 20、ノ下向索後マラウ(ノキネノ向ノ前進中)
- 一、死歿年月日時 昭和三十一年三月二十日 午後一時
- 一、死歿者本籍地 留守嶺

右確認(證明)ス

昭和三十一年三月二十日 元所属部隊名 陸軍第七〇八部隊

現住所 [Redacted]

元官等 陸軍一等兵

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクワシテ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツ者ハソノ前後ヲ
タワシク告知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

現本

現籍

住所

[Redacted Address]

18-11

州属部

隊第七十六部隊

官等

級陸軍一等文

敕集後續昭和四年十一月日補兵朱兵

一死亡年月日照和三十一年二月二十日

一死亡場所三ノ木河内道三ノ木站病院

一死亡区分計初死

一死亡事由及場所名發病年月日

現報事

右名三ノ木河内道三ノ木站病院に入院三月二十日ニ戦死ス

一遺骨の有無 十二

一遺族現住所続柄氏名

[Redacted Family Information]

右相違無事を證明す

現職官等級我名印兵長

新属部隊第七十六部隊

昭和二十一年十月二日

戦死証明書

一、戦死者本姓地

戸主名額柄

戸主

氏名

年 月 日生

二、所属

派遣地 第...部

三、戦死者徴集年

大 年

現役

兵種

死に前官等級陸軍上

年月日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和二年一月三十一日...

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

事由

昭和 年 月 日

九、其ノ他

昭和二年十月三十一日...

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ額柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

昭和二年 月 日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

兵種

氏名

市町村長證明箇所

右證明入

印

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 氏名 氏名

氏名

年 月 日生

二、所属部隊名

十師團 歩兵 第三師団 歩兵 第三師団 歩兵 第三師団

三、戦死者被擧年

昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和 年 月 日 時 分 場所

五、戦死現認ノ程度

現認 死体確認

六、遺骨歸還ノ有無

不明

七、戦死當時ノ状況ノ概要

昭和 年 月 日 戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

戦死 事由 昭和 年 月 日

九、其ノ他

昭和 年 月 日

一〇、遺族ノ現住所

昭和 年 月 日

戦死者トノ親類 氏名

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

証明者住所

戦死者トノ親類

所属部隊名

兵種 歩兵 官等 陸軍 佐 長

氏名

市町村長證明箇所

昭和 年 月 日

印

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸名

氏名

日生

65-11

二、所属

三、戦死者徴年

四、戦死年月日時刻及場所

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨時還ノ有無

七、戦死者時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

九、其ノ他

一〇、遺族ノ現住所

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三十二年一月三十一日

證明者住所

戦死者ノ関係

所属部隊名

兵種

氏名

市町村長證明箇所

証明

昭和三十二年一月三十一日

印

本館
在
開
闢
新
報

中華民國二十一年一月一日

（附刊）第一版 第二版 第三版 第四版 第五版 第六版 第七版 第八版 第九版 第十版

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

中華民國二十一年一月一日

中華民國二十一年一月一日

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

中華民國二十一年一月一日

本報地址	上海南京路（即舊上海）
電話	二二二二
電報掛號	二二二二
本報創刊日期	中華民國二十一年一月一日
本報創刊地點	上海南京路（即舊上海）
本報創刊人	（姓名）
本報創刊資本	（金額）
本報創刊宗旨	（宗旨）
本報創刊經過	（經過）
本報創刊後之發展	（發展）
本報創刊後之成績	（成績）
本報創刊後之展望	（展望）

中華民國二十一年一月一日

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

本報地址：上海南京路（即舊上海）
電話：二二二二
電報掛號：二二二二

戰時死亡現認證明書

官氏名印	現認者所屬	受傷(罹病)			勤務ノ概要	内地港灣出發戰地到着年月日		死		留守衛當者住所氏名	官等級氏名	役種徵集年	所屬部隊(固有)	本籍地	區分	事
		傷(病)名	場所	年月日時		傷(病)名	場所	年月日及區分								
陸軍部	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日	昭和二十一年十二月一日

現認證明書

威永造 第一二九部隊 隊

陸軍上等兵

右者昭和二十年二月三十日比島又エバシヤ洲バヨシニ於テ
左大體部員通敵創依リ戦死(戦病死)セルコトヲ現認ス

昭和二十年二月四日

現認者元

威第一二九部隊

隊陸軍

曹長

現住所

氏名

印

11-12

死亡現認證明書

昭和 年 月 日

死亡場所	本籍地	死亡原因	氏名	年齢
比島呂宋島クラーク地底	比島呂宋島クラーク地底	戦死	大塚 寛一	41
死亡年月日	死亡箇所	受傷箇所	備考	備考
昭和 年 月 日	比島呂宋島クラーク地底	大塚 寛一		

昭和二十年二月二十八日比島呂宋島クラーク地底、戦死に於て大塚 寛一氏を
 殺害し、戦死す。
 お現認す。

死亡原因	死亡場所	本籍地	現住所	備考
戦死	比島呂宋島クラーク地底	比島呂宋島クラーク地底	比島呂宋島クラーク地底	大塚 寛一
氏名	年齢	備考	備考	備考
大塚 寛一	41			

45-11

現認証

本籍地

部隊名

官等氏名

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡理由

右現認証

本籍地

部隊名

官等氏名

寫

戰時死亡者現認證明書

區分

記

事

本籍地

所屬部隊(固有)

翼九一三二(飛行七四戰隊)

役種
官等
生年
月日

現役一等年徵集
死亡前官等
死亡後官等

留守擔當者住所
氏名

本籍地山内郡

村町

續柄、氏名

年月日

死年月日及區分

昭和20年2月28日

時分戰(傷者)死、非戰死

亡傷(病)名

比島ルノ島天神谷ノハシリ川上院路上
詳細不明

内地港灣出發
戰地到着年月日

勤務ノ概要

(病罹)傷受
年月日時
場所
傷(病)名

現認者所屬

官氏名印

昭和
年
月
日
陸軍上軍兵部隊

○(記載上の注意は裏面)

(昭和)21年12月24日
日名(上院推定者)

死亡確認書

船砲隊第二聯隊第五中队						部所 隊属	
昭19.1.14入陣 現殺 船砲隊						兵校修 種年官 級等令 日月年	
		死亡前		一等英		死亡前	
[REDACTED]						本籍地	
[REDACTED]						本籍地	
確度		戦死		氏名		現住所	
甲		死		道分		年月日	
確度				傷病名		場所	
確度				發破年月日		事由	
確度						遺骨の有無及	

24-12

右 確 認 する
昭和二年 六月二十五日
旧 所 属 部 隊
旧 官 軍 級
死亡者との関係
現 任
氏 名 氏 及 郎
船 一 隻
昭 和 二 年

船砲兵勇連隊

昭平北サエルトイ 輪成を大混成中疎七田中疎

死亡事實(現認)証明書

本籍地

現住所

所属部隊

徵集年大

氏名

右ノ者昭和二十年二月 日 時

分^ハニ於テ大根部ニ依リ戦死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十年二月十五日

所属部隊

職名

官等級

氏名

- 注意
- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス
 - 一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

68-11

348

事實證明書

本籍地

[Redacted]

長男 [Redacted]

現住所

[Redacted]

連絡場所

[Redacted]

所屬部隊

第一五師團

[Redacted]

兵團

[Redacted]

大隊

[Redacted]

隊

[Redacted]

第一五師團

第三

大隊

通稱

威一〇六七二

威集年

昭八三〇

二補

[Redacted]

贈與

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

右者

昭和二十年

二月

末日

北島

村

三

角山

三

戰死

七

三

ト

證明人

昭和二十一年一月六日

現住所

[Redacted]

調製者

部隊名

威一〇六七二

職氏名

分隊長

[Redacted]

連絡中

9-11

1379

昭和二十二年 月 日

死亡者調査表

昭和二十二年 月 日

日調製

君製調

所屬部隊	前名	後名	年	月	日	時	分	秒	死亡場所	死亡原因	死亡直前の職務	資料入手の経緯	見所	現住	現職	官	氏名	官銓	等級	決	判
陸軍	田中	重雄	20	2	10	10	00	00	東京市豊島区	戦死	歩兵	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死
所屬部隊	前名	後名	年	月	日	時	分	秒	死亡場所	死亡原因	死亡直前の職務	資料入手の経緯	見所	現住	現職	官	氏名	官銓	等級	決	判
陸軍	田中	重雄	20	2	10	10	00	00	東京市豊島区	戦死	歩兵	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死	戦死

〇〇〇本表中の記号は第一世帯に記入すること
不備事項中判明するものは各姓に記入すること

昭和二十二年 月 日

戦死証明書

13-11

一、戦死者本籍地

戸主名額納 戸主

氏名

生 月 日生

二、所属

第...歩兵...連隊

三、戦死者経年

昭和...年...月...日

四、戦死年月日時刻及場所

...

五、戦死確認ノ程度

...

六、遺骨回還ノ有無

...

七、戦死當時ノ状況ノ概要

...

八、死亡区分

昭和...年...月...日

九、其ノ他

...

一〇、遺族ノ居住所

戦死者トノ関係ノ人

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和...年...月...日

證明者住所

戦死者トノ関係

所属部隊名

...

氏名

印

市町村長證明箇所

昭和二十一年
死亡者
姓名

死亡者姓名

本籍地

居住所

新藤部郡比島振武東園
市
町
村
番地
防(麻)支所(市)部

官等職氏名
區長
佐長

一死亡年月日
昭和二十一年二月二十日

一死亡原因
所以由アノ事ナリ也

一死亡
由蔵死

一(發病年月日及病名)

右ノ通り

新藤部郡比島振武東園
市
町
村
番地
防(麻)支所(市)部

官等職氏名
區長
佐長

一死亡年月日
昭和二十一年二月二十日

一死亡原因
所以由アノ事ナリ也

一死亡
由蔵死

一(發病年月日及病名)